

# 令和7年度 妹尾緑道公園トイレ改修工事

## 図面リスト

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
A-00	表紙・図面リスト・付近見取図	1/2500	A-08	平面図（改修前・改修後）	1/50
A-01	建築改修工事特記仕様書 1	N/S	A-09	屋根伏図・屋根部分詳細図	1/50・1/10
A-02	建築改修工事特記仕様書 2	N/S	A-10	スロープ断面詳細図・ライニング部分詳細図	1/20
A-03	建築改修工事特記仕様書 3	N/S	A-11	トイレブース姿図・仕上表	1/30
A-04	建築改修工事特記仕様書 4	N/S	E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	N/S
A-05	建築改修工事特記仕様書 5	N/S	E-02	電気設備平面図（改修前・改修後）	A1:1/40
A-06	建築改修工事特記仕様書 6	N/S	M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	N/S
A-07	配置図兼仮設計画図（参考）	1/200	M-02	給排水設備平面図（改修前・改修後）	1/40



付近見取図 S=1/2500

工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				No.			
図面名	表紙・図面リスト・付近見取図	縮尺	1/2500		A-00			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和7年6月				A-11		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	









12	接着剤	[ 6. 8. 2 ], [ 6. 11. 5 ] [ 6. 13. 2 ], [ 6. 14. 2 ] [ 6. 16. 4 ]	・特殊機能床材（帯電防止以外） 種類 厚さ（mm） 寸法（mm） 材料 色柄 ・導滑用床材、注意喚起用床（表面形状 JIS 19251） ・ 300×300 ※塩ビ ・合成ゴム ・黄色 ・ 400×400 合成ゴム ・
			ビニル幅木の長さ（mm） ※60 ・75 厚さ（mm） ※2.0 ・ 材質 ※軟質 ・硬質
13	カーペット敷き	[ 6. 9. 2 ] [ 6. 9. 3 ]	・接着剤は可塑剤（揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
			・タイルカーペット パイル形状 種別 施工箇所 寸法 総厚さ（mm） 備考 ※ループパイル ※第一種 ※第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・カットパイル ※第一種 ※第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・カット・ループ併用 ※第一種 ※第二種 ※ 500×500 ※ 6.5
14	合成樹脂塗床	[ 6. 10. 2 ] [ 6. 10. 3 ]	下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号（呼び厚さ8mm） ・ 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※図示 ・
			・弾性ウレタン樹脂系塗床材 [表6.10.1] 仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂系塗床材 [表6.10.2] 工法 ・薄膜流しのべ仕上げ ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法 仕上げの種類 ・平滑仕上げ ・防滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
15	床用防じん塗料塗り		材質 水性アクリル系樹脂塗材 仕上の種類 ※平滑仕上げ ・（防滑仕上げ）（※標準色 ・） 工法 製造所の指定する工法とする 塗布料 上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
			フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 種類、工法 ・単層フローリング（「70-リグ'グ'1'等」「70-リグ'グ'1'等」 樹種 ※なら ・ ・釘どめ工法（・根太張り ・直張り） ・接着工法 フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.1、3、5による ・ ※複合フローリング 樹種 ※なら ・ヒノキ ・ ・釘どめ工法（・根太張り ・直張り）（・A種 ・B種 ※C種） ・接着工法（・A種 ・B種 ※C種） フローリングボードの大きさ ※改修標準仕様書表6.11.2、4、6による ・ 仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス ・オイルステイン塗りのうえワックス ・生地そのままワックス 間伐材等の適用 ※適用する ・適用しない 間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10％以上であること 居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること
16	フローリング張り	[ 6. 11. 2～6 ]	JIS A 6512によるほか、下記による 構造形式による種類 ※スタッド式（・スタッド露出 ・スタッド内蔵）・スタッドパネル式 構成基材の種類 ※図示による パネル表面材質及び厚さ（mm） ※鋼板0.6 ・鋼板0.8 ・ 仕上げ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備品 ・指定色） パネル総厚さ（mm） ・mm程度 遮音性（d b） ・0 ・15程度 ・30程度 ・36以上 防火性能 ・不燃 ・
			天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの 合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ パーティクルボード(①)、繊維板(②)、木質系セメント板(③)の原材料 合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、紙製未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が50％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が20％以下の接着剤、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等）で主要な原材料相互間を接着する目的で、使用されるもの）を計上せずに、重量比配合率を計算することができるものとする） ※図示による 合板の張付け ・A種 ・B種
17	可動間仕切り	( 20. 2. 3 )	目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類 目地処理の種類 張り方 せっこうボードのエッジの種類 ・継目処理 ・直張り ・上張り ※テーパーエッジ ・ペベルエッジ ・突付け ・直張り ・上張り ・下張り ※スクエアエッジ ・突付けV目地 ・直張り ・上張り ※ペベルエッジ ・目隠し ・直張り ・上張り ・ペベルエッジ ・スクエアエッジ
			建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 ・紙 ・繊維 ・フタ付 ・無機質 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・紙 ・繊維 ・フタ付 ・無機質 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃
18	せっこうボード その他ボード及び 合板張り	[ 6. 13. 2 ]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ モルタル・せっこうプラスチック面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・
			モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料（材料 ） 既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・） ・設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による 建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤（品質性能等） ・防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする 膨張性のひび割れおよびそりが無い（JIS R 5201規定10） 混合割合 セメント重量の5％以下（JIS A1404） 吸水比 95％以下（JIS A1404） 透水性 80％以下（水圧は294kPaとし1時間行う） 凝結時間（JIS R 5201規定9）始発1時間以上、終結10時間以内 曲げ及び圧縮強度比 70％以上（JIS A1404）
19	壁紙張り	[ 6. 14. 2 ]	建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 ・紙 ・繊維 ・フタ付 ・無機質 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・紙 ・繊維 ・フタ付 ・無機質 ・ ・不燃 ・準不燃 ・難燃
			ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ モルタル・せっこうプラスチック面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ コンクリート面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・ せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえの種類 ※B種 ・
20	モルタル塗り	[ 6. 15. 3, 5, 6 ]	モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料（材料 ） 既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・） ・設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理 ・図示による 建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤（品質性能等） ・防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする 膨張性のひび割れおよびそりが無い（JIS R 5201規定10） 混合割合 セメント重量の5％以下（JIS A1404） 吸水比 95％以下（JIS A1404） 透水性 80％以下（水圧は294kPaとし1時間行う） 凝結時間（JIS R 5201規定9）始発1時間以上、終結10時間以内 曲げ及び圧縮強度比 70％以上（JIS A1404）
			セメントモルタルによる タイル張り [ 6. 16. 3 ]
21	セメントモルタルによる タイル張り	[ 6. 16. 3 ]	伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・） 床タイル以外（※図示 ・） タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 備考 箇所（mm） I類 II類 III類 無砂り 有 無 標準 特注 有 無 り性 床 50 ・ ○ ・ ・ ・ ○ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 壁タイル張りの工法 内壁タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内壁タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
			伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・） 床タイル以外（※図示 ・） タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 備考 箇所（mm） I類 II類 III類 無砂り 有 無 標準 特注 有 無 り性 床 100 ・ ・ ・ ○ ○ ・ ・ ○ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行う ※行わない 見本焼き ・行う ※行わない 有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・
22	有機系接着剤による タイル張り	[ 6. 16. 4 ]	伸縮調整目地の位置 床タイル（※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ・） 床タイル以外（※図示 ・） タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐滑 備考 箇所（mm） I類 II類 III類 無砂り 有 無 標準 特注 有 無 り性 床 100 ・ ・

3セメントの種類  
[8.2.5]

表8.2.3

セメントの種類

使用箇所

※普通ポルトランドセメント  
・高炉セメントB種(D)  
・フライアッシュセメントB種(D)  
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱

7日目

28日目

4骨材の種類  
[8.2.5]

アルカリシリカ反応性による区分  
※A  
・B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下）

5混和材料  
[8.2.5]

・混和剤 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(a)による  
・混和材 種類 ※改修標準仕様書8.2.5(4)(b)による

6構造体用モルタル  
[8.2.6]

圧縮強度（ ） フロー値（ ）

7無筋コンクリート  
[6.14.1~3][8.11.1~3]

適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による・図示  
設計基準強度F<sub>c</sub>(N/mm<sup>2</sup>) ※18  
スラブ ※15又は18  
セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント

8ひび割れ誘発目地  
打継目地  
[6.6.4][6.8.1]

目地寸法 ※標準仕様書9.7.3による  
間隔 ※図示による・高炉セメントB種(D)  
位置 ※図示による  
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さで処理する

9コンクリートの仕上り  
[8.1.4][8.2.7]

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ 表8.1.4  

種類	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

  
コンクリートの仕上りの平たんさ 表8.1.5  

種類	適用箇所
・A種	
○B種	スロープ基礎
・C種	

10打増し厚さ  
[6.8.1][8.7.8]

・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）  
・20mm  
・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）  
・10mm・20mm  
・外装タイル後張り面の打増し処理  
・20mm  
・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理  
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う  
・10mm・20mm

11型枠  
[6.8.2][8.2.7]

せき板の材料及び厚さ  
※合板（※12mm）  
・メッシュ型枠（使用部位 ※構造図による）  
・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲 ※構造図による）  
スリーブ材 ※標準仕様書6.8.2(9)(イ)による・構造図による  
断熱材兼用型枠 ・使用しない・使用する（※25mm以下かつ熱抵抗値1m<sup>2</sup>/K以上）  
MCR工法用シートの仕様 ・使用しない・使用する（使用部位 ※図示による）

12型枠の加工及び部位  
[8.7.8]

シアコネクタをセパレータとして使用  
適用箇所 ※構造図による

13コンクリートの打込み工法等  
[8.21.8][8.23.5]

部位毎のコンクリート打設工法の指定  
補強工法  
現場打ちコンクリート壁の増設工事  
・流込み工法（・全て・）  
・圧入工法（・全て・）  
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法  
・流込み工法（・全て・）  
・圧入工法（・全て・）

8-3鉄骨工事

1鉄骨の製作工場  
[8.1.5]  
[7.1.1][7.1.3]

鉄骨製作工場の加工能力  
※建築基準法第7条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。  
（・Jグレード・Rグレード・Mグレード・Hグレード・Sグレード）

2鉄骨製作工場における施工管理技術者  
[8.1.6]

※配置する・配置しない

3鋼材  
[8.2.8]

鋼材の材質 表8.2.7  

種類の記号	適用箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

4高力ボルト  
[8.2.9][8.13.2]  
[8.14.2]

区分  
※トルシヤ形高力ボルト 2種（S10T）  
・JIS形高力ボルト 2種（F10T）  
高力ボルトの径 ※図示による  
すべり試験 ※行わない  
・行う（すべり係数試験・すべり耐力試験）  
試験方法等 ※構造図による  
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5溶融亜鉛めっき高力ボルト  
[8.2.9][8.13.2]  
[8.20.5]  
[7.12.5]

セットの種類  
※1種（F8T相当）  
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径  
・大臣認定を受けた内容による  
摩擦面の処理  
※プラスト処理（表面粗度50μmR±以上）  
・プラスト以外の特別な処理（りん酸塩処理）  
すべり試験 ※行わない  
・行う（すべり係数試験・すべり耐力試験）  
試験方法等 ※構造図による  
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7.12.5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

6普通ボルト  
[7.2.3]

ボルト及びナットの材料等 ※標準仕様書 表7.2.3による  
座金 ※標準仕様書 表7.2.3(4)による  
母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm・図示

7アンカーボルト  
[7.2.4][7.3.2]  
[7.10.3]

適用  
・構造用アンカーボルト  
セットの種類  
・ABR400  
・ABR490  
形状、寸法 ※構造図による  
・建方用アンカーボルト  
種類  
・SS400  
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度  
※標準仕様書 表7.2.3による  
・構造用による  
標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト  
適用箇所  
・図示による（ ）  
種類SS400  
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度  
※標準仕様書 表7.2.3による

8溶接材料  
[8.2.10]

・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による  
・図示による

9ターンバックル  
[7.2.6]

種類  
建築用ターンバックル鋼 ※割替式  
建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト  
ねじの呼び ※構造図による

10デッキプレート  
[7.2.7]

工法の種類  
・合成スラブ（適用箇所・構造図による）  
・床型枠用（適用箇所・構造図による）  
・

11スタッドボルト  
[8.2.11]

※図表スタッド（JIS B1198）  

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用箇所
16φ	・80・100・120	
19φ	・80・100・130・150	
22φ	・80・100・130・150	

12柱底均しモルタル  
[8.2.12]

モルタルの種類  
※無収縮モルタル  
無収縮モルタルの材料及び割合  
※改修標準仕様書 8.2.12による

13製作精度  
[8.13.3]

・改修標準仕様書8.13.3及びH12建造第1464号第二号イによる  
通しダイヤフラムの許容誤差  
・ダイヤフラムをH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り  
補強方法  
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による  
・全てのダイヤフラムはH12建造第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

14仮組  
[8.13.10]

※行わない・行う（適用範囲 ※構造図による）

15高力ボルト接合  
[8.14.2]

スプライスプレートの材質 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする  
フライアプレートの材質 ※SS400とする

16溶接接合  
[8.15.4][8.15.7]

開先の形状 ※構造関係共通事項 4 溶接継手の種類別開先標準による・構造図による  
スカラップの形状 ※構造関係共通事項 6 スカラップによる・構造図による  
鋼製エンドタブの切断する部分  
切断する箇所 ※構造図による  
切断する範囲  
・構造図による  
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断面が交差する場合は、交差部を7-4状に加工する  
切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(b)②による  
完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※（一社）日本建築学会「JASS 6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による  
鋼製エンドタブ・裏当て金 ※鋼材の種類及び引張強さによる区分は母材と同等とする

17入熱、バス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件  
※構造関係共通事項による・図示  
適用箇所  
※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部  
・図示による

18溶接部の試験  
[8.15.12]

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験  
※行う・行わない  
工場溶接の場合 ※全数  
工事現場溶接の場合 ※全数

19耐火被覆  
[8.18.2~8]

割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う  
突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査  
独立行政法人建築研究所監修  
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による  
・抜き取り検査1 ※抜き取り検査2

種類及び性能

種類	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板 ・		
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		
・	・		
・ラス張りモルタル塗り	・		
・耐火塗料	・		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能	適用箇所（部位・部分）
・30分耐火	
・1時間耐火	
・2時間耐火	
・3時間耐火	

8-4あと施工アンカー工事

1あと施工アンカー  
[8.2.4]

引張耐力  
・せん断耐力  
・金属系アンカー  

本体		接合部	
径（mm）	埋込み深さ（mm）	セッ方式	種類
		本体打ち込み式改良型	
		n	

  
※接着系アンカー  

径（mm）	埋込み深さ（mm）	接着剤の材質	アンカーの種類	アンカー筋の種類
10	70	※有機系	※カプセル方式回転・打撃式	
		・無機系		

  
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による

2穿孔前の埋込配管等の探査  
[8.12.4]

探査範囲 ※穿孔範囲の全て  
探査方法  
※鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う  
・はつり出しによる  
・

3あと施工アンカーの試験  
[8.2.4][8.12.7]  
[14.1.3]

性能確認試験 ※行わない・行う  
施工確認試験 ・行う ○行わない  
確認強度 ・構造図による

4シアコネクタ  
[8.7.8]

・金属拡張系アンカー 適用箇所 ※構造図による  
・接着系アンカー 適用箇所 ※構造図による

5施工管理技術者  
[8.12.2]

（一社）日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。

8-5グラウト工事

1柱底均しモルタル  
[8.2.12]

無収縮モルタル ・使用する・使用しない

2グラウト材  
[8.2.12]

無収縮グラウト材の材質等  

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。 JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
セメント	
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

  
無収縮グラウト材の品質及び試験方法  
コンステンシー Jフロードによる落下時間  
練混ぜ後から3分以内の値： 8±2秒  
ブリーディング 練り混ぜ2時間後のブリーディング率： 2.0%以下  
凝結時間 凝結開始時間： 1時間以上  
終結時間： 18時間以内  
無収縮性 材齢 7日 収縮しない  
圧縮強度 材齢 3日 20N/mm<sup>2</sup>以上  
材齢 28日 40N/mm<sup>2</sup>以上  
塩化物量 0.30kg/m<sup>3</sup>以下  
試験方法 1) NEXO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。  
2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

8-6連続繊維補強工事

1連続繊維シート  
[8.13][8.24.6]  
[8.24.7]

連続繊維の材料  
・炭素繊維  
・アラミド繊維  
連続繊維の材質  
引張強度（含浸硬化後）  
ヤング係数（含浸硬化後）  
繊維目付量  
シート厚さ  
シート貼り方向  
定着方法  
含浸接着樹脂  
プライマー  
下地処理  
仕上げモルタルの除去  
下地処理の範囲  
下地処理の程度  
柱及び梁の隅角部の面取り  
下地調整

8-7耐震スリット新設工事

1耐震スリットの方式、幅及び深さ  
[8.25.2]

・完全  
・部分  
設置箇所 ※構造図による  
スリットの幅及び深さ ※構造図による

2耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査  
[8.12.4][8.25.2]

既存撤去部の配管等の探査  
※鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う  
・はつりだしによる

3耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等  
[8.25.2]

・耐火材 使用箇所及び仕様  
・道骨材 使用箇所及び仕様  
・撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修

9環境配慮改修工事

1石綿含有建材の除去工事  
[9.1.1][9.1.3~6]

調査  
※石綿含有建材の事前調査  
1章5による  
・分析による石綿含有建材の調査（施工調査）  
分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンスフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トレモライト  
分析方法  
分析結果については、監督職員に報告すること  

材料名	定性分析	定量分析
	JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2	JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
	箇所	箇所
	箇所	箇所
	箇所	箇所

  
材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと  
サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所  
・図示  
・  
・石綿粉塵濃度測定  
測定時期、場所及び測定点  

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・測定1	処理作業前	処理作業室内	計	点
・測定2		調査対象外部の付近	計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	計	点
※測定4		セキュリティゾーン入口	計	点
※測定5		集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合）	計	点
※測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺・敷地境界	計	点
※測定7	処理作業後 （シート養生中）	処理作業室内	計	点
・測定8	処理作業後	処理作業室内	計	点
・測定9	（シート撤去後 1週間以降）	調査対象外部の付近	計	点

  
測定方法  
・自動測定器による測定  

測定名称	測定方法
・測定4・測定5 ・測定（ ）	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

  
・JIS K 3850-1に基づいた測定  

	測定4,5・測定（ ）	測定（ ）	測定（ ）
メンブレンフィルタ直径（mm）	2.5	4.7	4.7
試料の吸引流量（l/min）	・	・1.0	・1.0
試料の吸引時間（min）	・3.0	・12.0	・12.0

工事名

妹尾緑道公園トイレ改修工事

N o .

A-05

図面名

建築改修工事特記仕様書5

橋氏

岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課

令和7年6月

担当

承認

検印

製図

課長

課長補佐

係長

係員

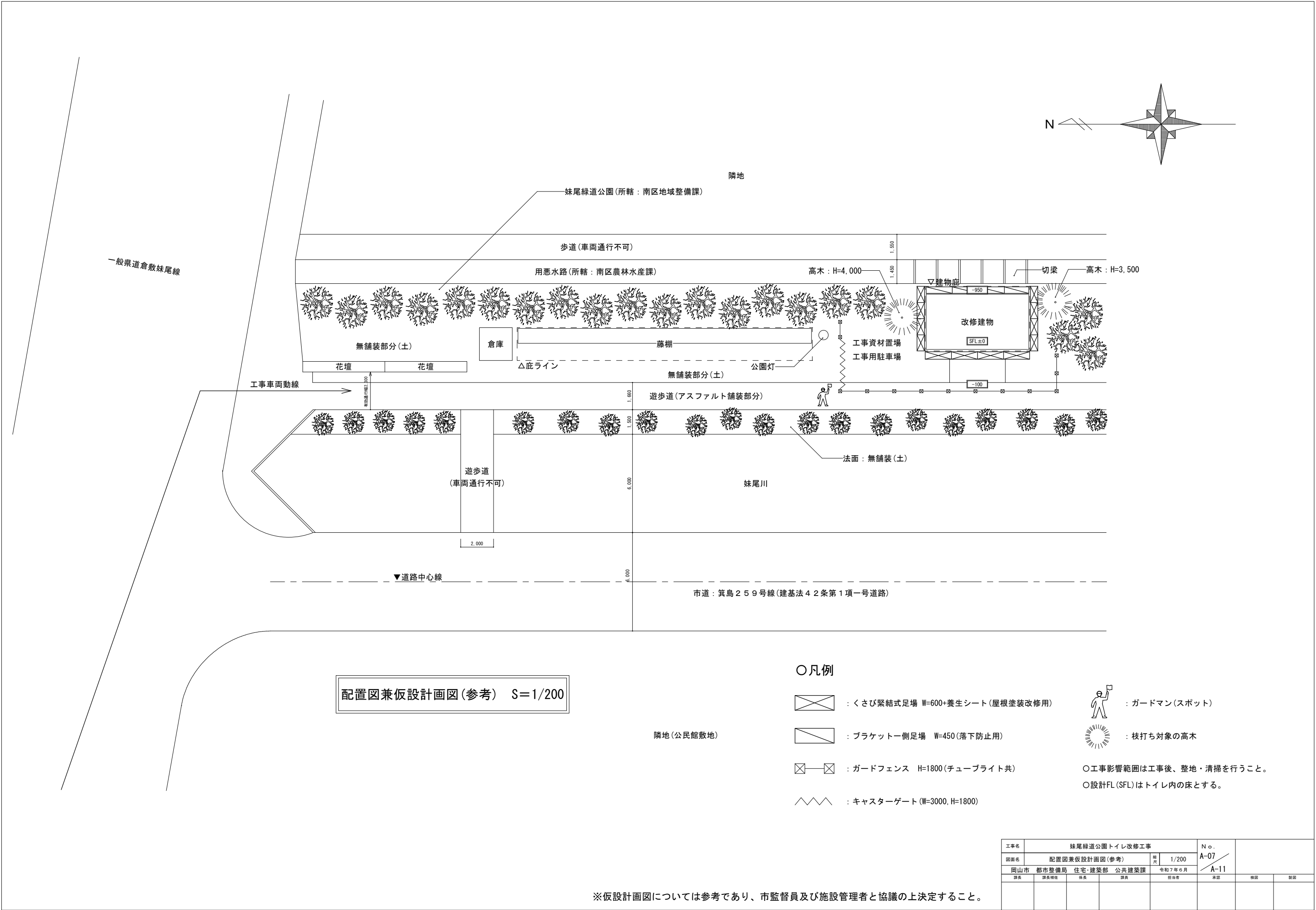
担当者

承認

検印

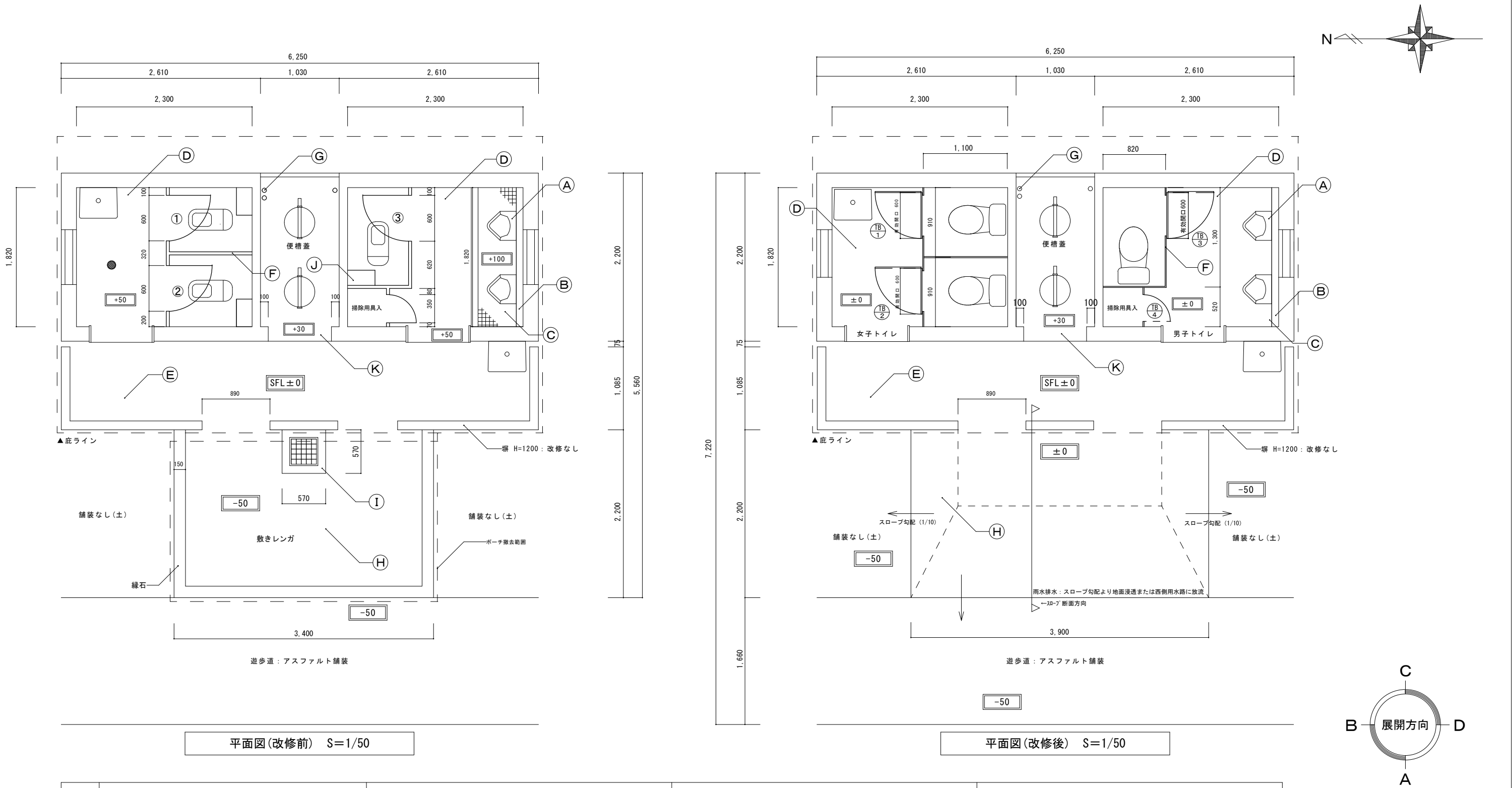
製図





※仮設計画図については参考であり、市監督員及び施設管理者と協議の上決定すること。

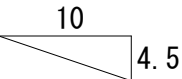
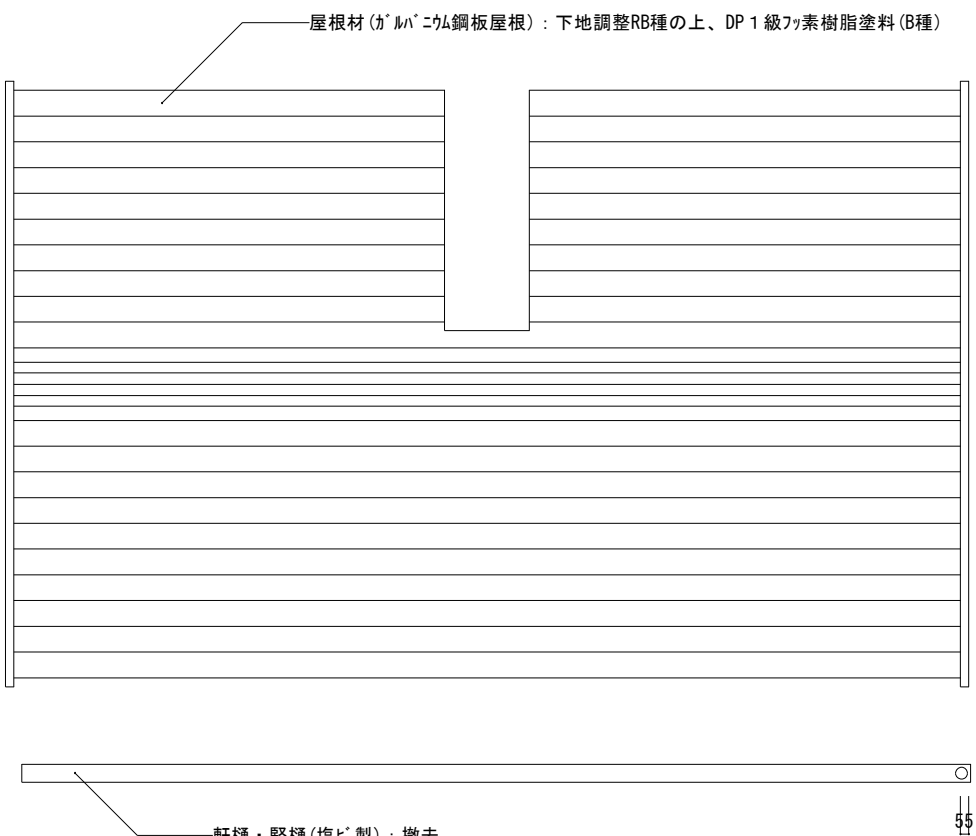
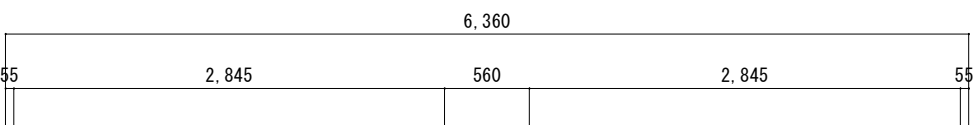
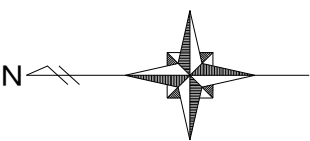




記号			既設仕上			改修仕上			記号			既設仕上			改修仕上		
Ⓐ	和風大便器3基、小便器2基、手洗い器2基	撤去	洋風大便器3基、小便器2基、手洗い器2基	新設(機械設備工事)	新設	Ⓔ	臭突管	—	既存のまま	—							
Ⓑ	ライング 面台：人工大理石t=20 腰壁：磁器質タイル張り(100角)	撤去	面台：SUS製t=20(内田金属同等品) 腰壁H=1100：磁器質タイル張り(100角)、SUS製巾木	新設	Ⓕ	ホーチ：縁石・敷きレンガ	撤去	再生クラッパン t 60 普通コンクリート打設の上、打放し刷毛引き仕上	新設								
Ⓒ	汚垂石 コンクリート打ちt=50 セメントモルタル塗の上、磁器質タイル張り(50角)	撤去	コンクリートはつりt=50 セメントモルタル塗の上、磁器質タイル張り(50角)	改修	Ⓖ	雨水排水柵：コンクリート製570*570*300	撤去	撤去後、埋戻し	—								
Ⓓ	トイレ内部床(全面) セメントモルタル塗の上、磁器質タイル張り(50角)	撤去	タイルはつり(モルタル共) セメントモルタル塗の上、磁器質タイル張り(50角)	改修	Ⓙ	荷物台：3か所(360*180*180) 磁器質タイル張り(100角)	撤去	撤去のみ	—								
Ⓔ	トイレ外部床(全面) セメントモルタル塗の上、磁器質タイル張り(90角)	撤去	タイルはつり(モルタル共) ライニング(1010*100*100)敷き、軽量コンクリート打設 t 50の上、セメントモルタル塗 磁器質タイル張り(100角)	改修	Ⓚ	便槽：コンクリート仕上げ	—	既存のまま	—								
Ⓕ	トイレブース(扉共) 3か所(H=1875 t=40)上部7mm製虫除けサッシ	撤去	トイレブース：3か所新設 H=1875(小松ワール同等品)上部虫除けサッシ復旧	新設													

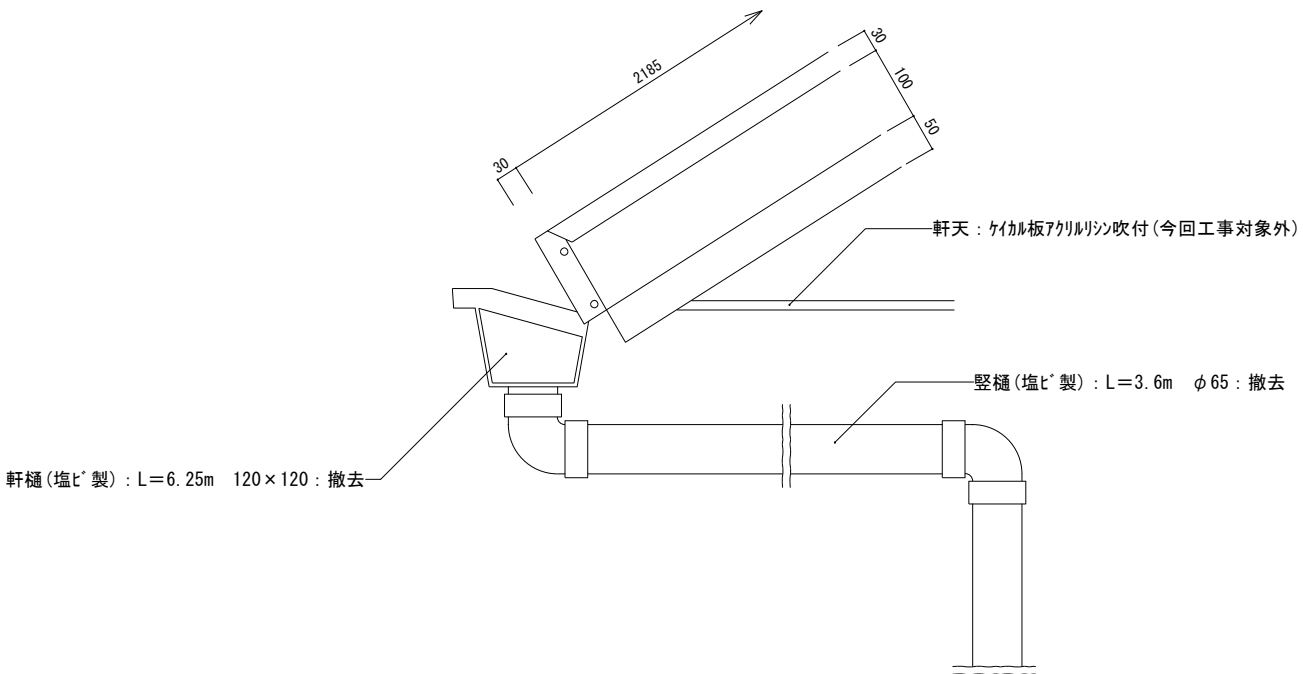
○凡例  
±0：設計FLからの高低差を示す。

工事名		妹尾緑道公園トイレ改修工事				No.			
図面名		平面図（改修前・改修後）			縮尺	1/50		A-08 A-11	
岡山市		都市整備局		住宅・建築部		公共建築課		令和7年6月	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者	
								承認	
								検図	
								製図	



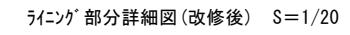
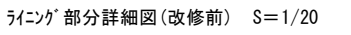
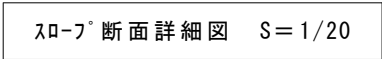
屋根伏図 S=1/50

軒樋・竖樋 (塩ビ製) は撤去のみ行い、新設しない。



屋根部分詳細図 S=1/10

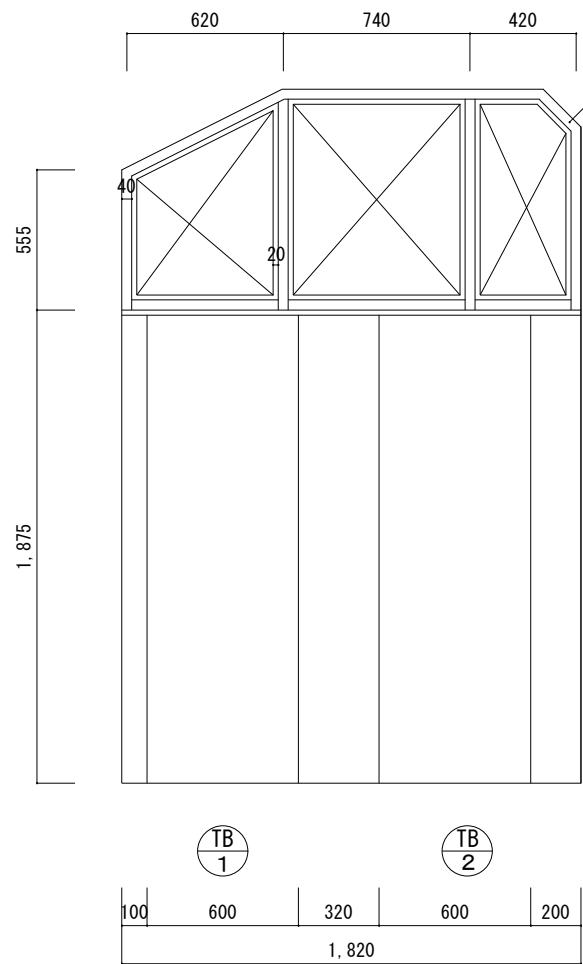
工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				No. A-09 A-11		
図面名	屋根伏図・屋根部分詳細図		縮尺	1/50・1/10			
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年6月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				No. A-10 A-11		
図面名	スロープ断面詳細図・ライニング部分詳細図		縮尺	1/20			
岡山市		都市整備局	住宅・建築部	公共建築課		令和7年6月	
課長	課長補佐	係長	課長	担当者	承認	検印	製図

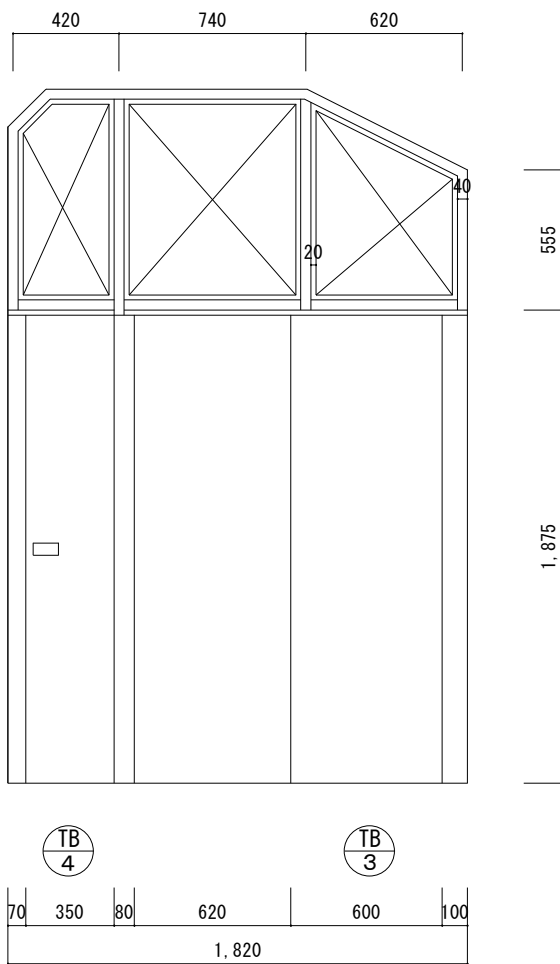
※上部の虫除けアルミサッシ（造作）は復旧する予定とする。

上部虫除けアルミサッシ



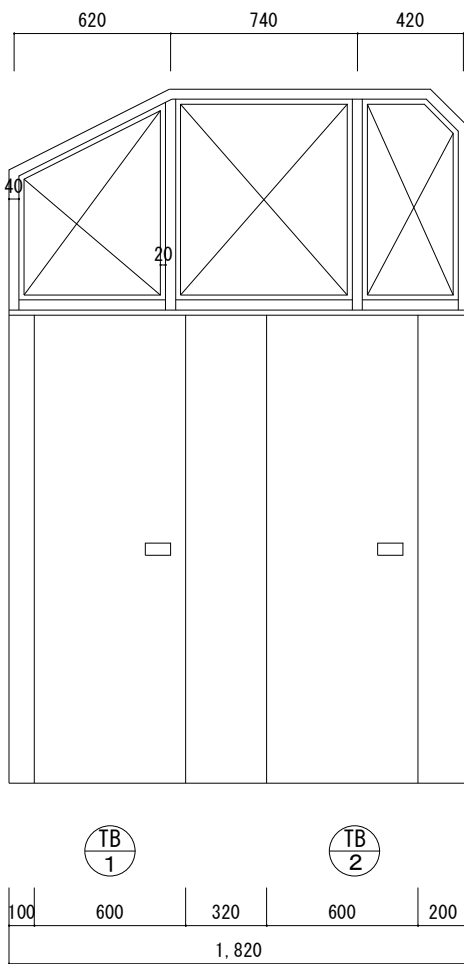
女子トイレブース姿図(改修前) S=1/30

展開D方向



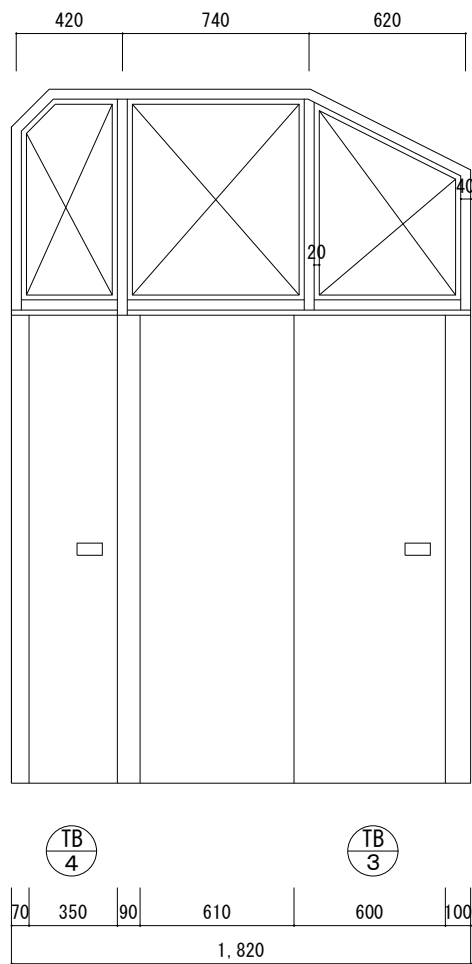
男子トイレブース姿図(改修前) S=1/30

展開B方向



女子トイレブース姿図(改修後) S=1/30

展開D方向



男子トイレブース姿図(改修後) S=1/30

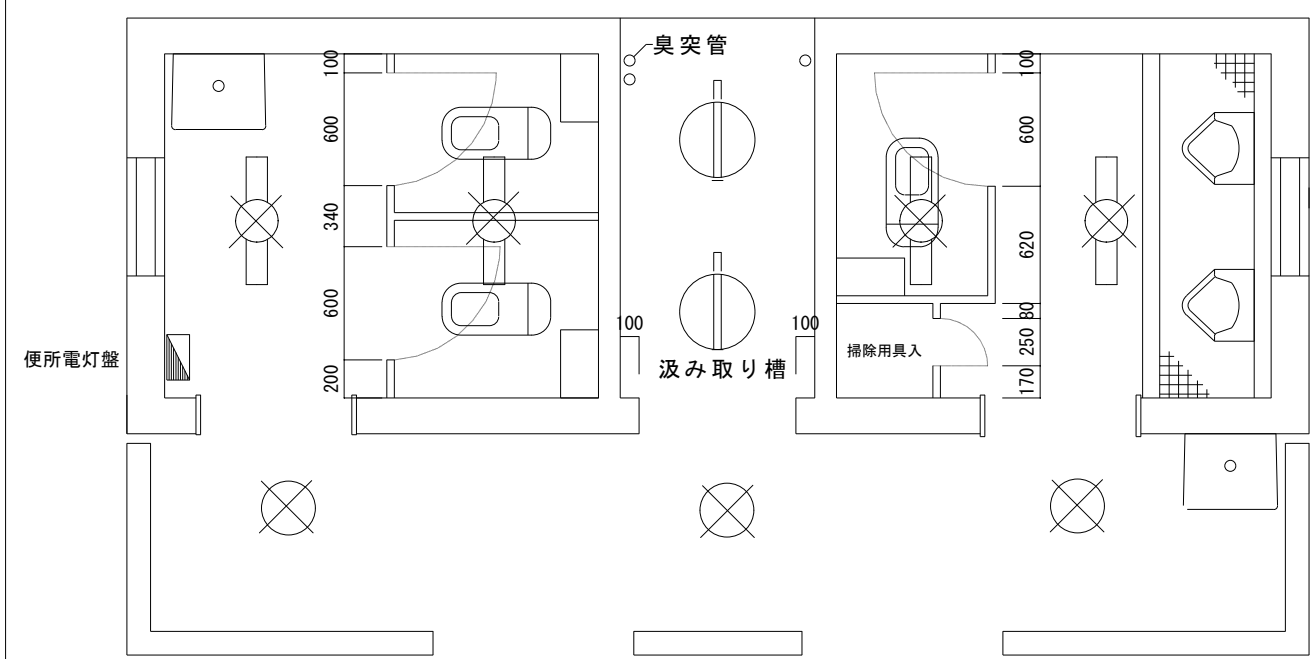
展開B方向

名称		材質	
パネル ドアパネル 厚み40mm	表面材	高圧メラミン樹脂化粧板	
	芯材	ペーパーコア	
	枠材	LVL	
	エッジ材	アルミ押出形材	骨材 巾木・床レール H60mm ステンレス 0.8mm
	エッジベース	樹脂 (PP)	グレビティヒンジ 中心吊型 ステンレス製
	パネル上下	パネル(下) : 樹脂 (PP) パネル(上) : 樹脂 (PP)	付属金物一式 戸当り帽子掛、スライドロック (外開表示付)

工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				N o .			
図面名	トイレブース姿図・仕上表			縮尺	1/30	A-11 A-11		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和7年6月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	





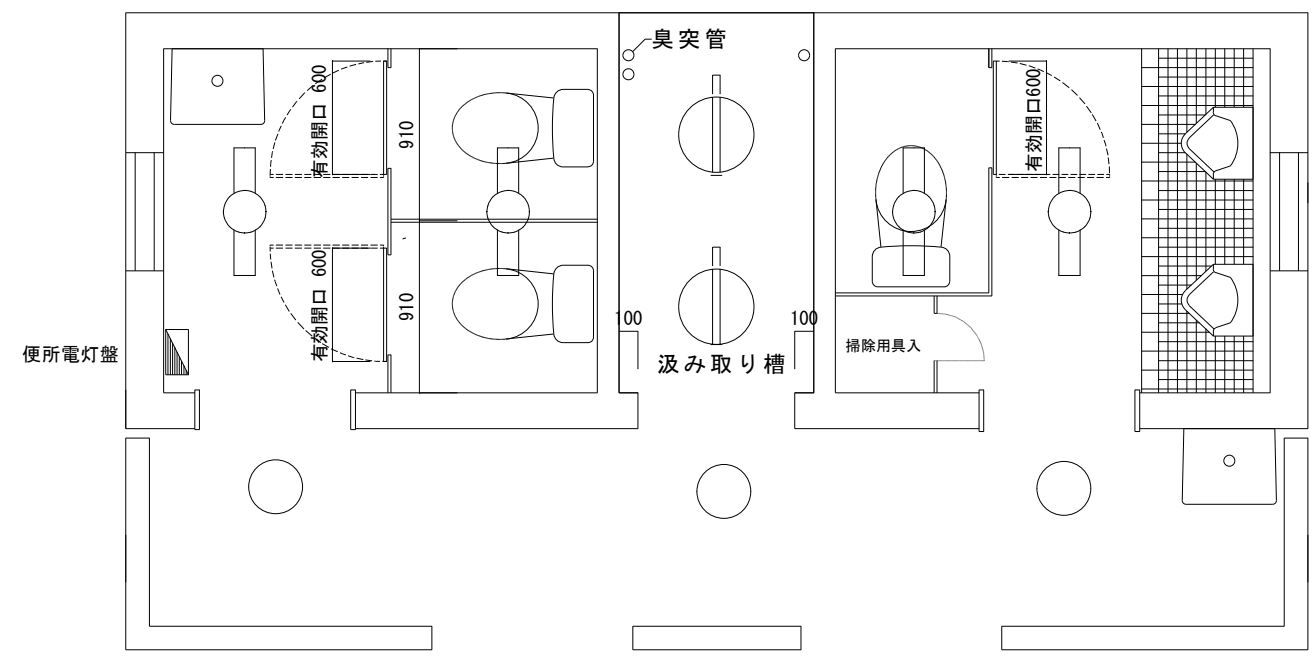


平面図（改修前）：1/40

[改修前 凡例]	
	FL20W×1 直付
	FL10W×1 直付

✕ 撤去を示す

撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リストおよび型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。なお、電路から取り外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出・地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。保管場所については、監督員の指示に従うこと



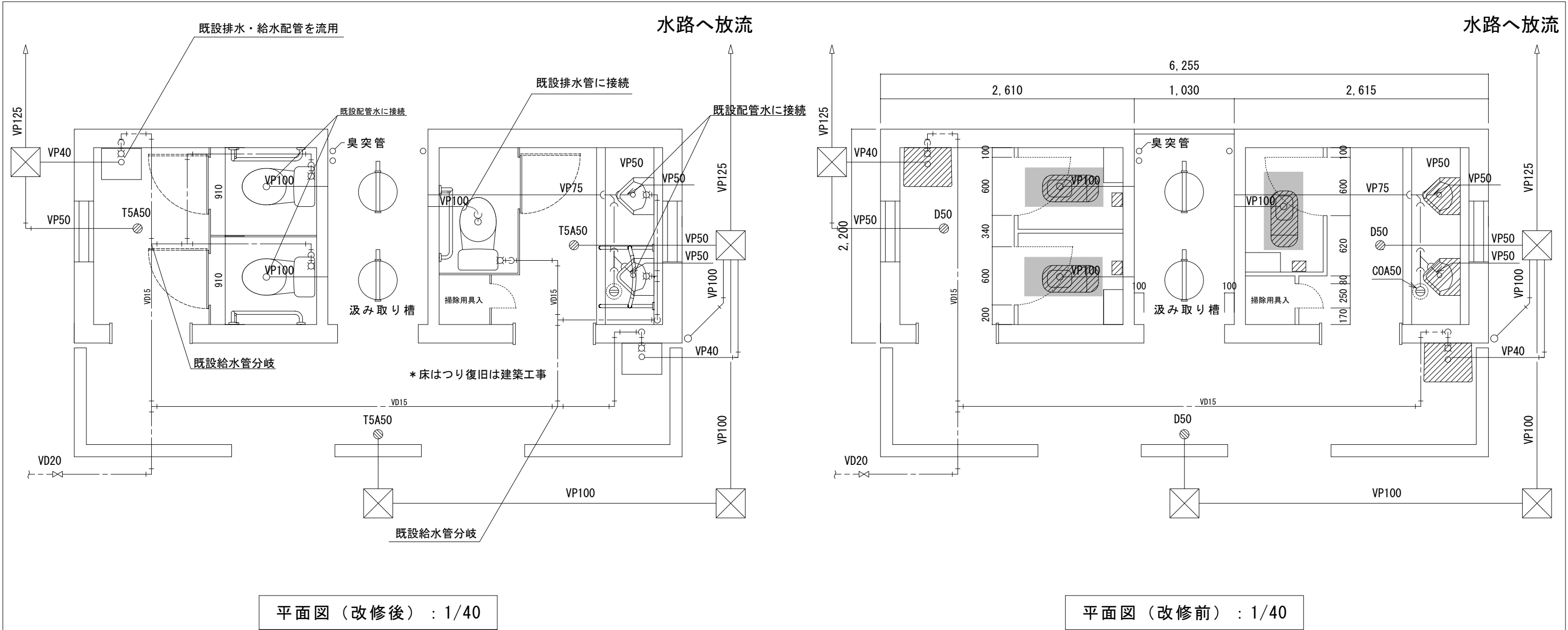
平面図（改修後）：1/40

※照明点灯、消灯は便所電灯盤内タイムスイッチ（既存）配管、配線は残置

[改修後 凡例 照明姿図]	
 600lm 昼白色（5000K） LED電球共	 一般タイプ、800lmタイプ 消費電力5.9W 昼白色（5000K）、Ra83
<b>A</b> 参考型番：LEDG85911（W） LED電球 軒下用シーリングライト 軒下用（防雨型） 天井直付型	<b>B</b> 参考型番：LEKTW223084N-LS9 直付形20形 防湿型・防雨型 W230

工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				No.  E-02			
図面名	電気設備平面図（改修前・改修後）		縮尺	A1:1/40				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年6月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	





和風大便器撤去補修要領 S=Free 参考図

洋風大便器設置要領 S=Free 参考図

衛生器具リスト（新設）

品名	参考型番	数量
洋風大便器	簡易水洗、ATW-50	3
L型手すり	T112CL9、その他付属品	3
小便器用手すり	T112CU22	1
手洗器	L30DM、TL19AR、T22BS、その他付属品	2
小便器	ATU-309	2

衛生器具リスト（撤去）

品名	仕様	数量
和風大便器	汲み取り式	3
小便器	非水栓	2
紙巻器		3
洗面器		2

床はつり・補修部

撤去機器

工事名	妹尾緑道公園トイレ改修工事				No.			
図面名	給排水設備平面図（改修前・改修後）			縮尺	1/40	M-02		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和7年6月		M-02		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	